

印刷技術の確かな価値  
**JP2013**  
情報・印刷産業展

会場案内特集

# 印刷タイムス

5月10日(金曜日) 16日開幕のJP2013に期待する大阪印刷業界

株式会社 印刷の世界社  
〒530-0054  
大阪府北区南森町1-1-26 南森町フジビル4階  
電話 06-6311-0281 FAX 06-6311-0288  
東京支局 〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-8-6  
電話 03-5256-0591 FAX 03-5256-0595  
年間印刷部 12,000円(税込み)  
郵便振替 00940-0-318796

## 北東工業とメーカー5社の協力で

# LED-UVと水無し併用で新しい形求める



東條秀樹氏

### 桜井・菊全判4色機ベースに 「ものづくりへのこだわり」実現

北東工業(東條秀樹社長)は、1バルクグラフィックシステムス、LED-UVと水無し印刷を併用して、薄紙を含む印刷物の工業生産化を前提にした「ものづくりへ」を、5月16日から開幕するJP2013情報・印刷産業展で桜井システムス、東レ、富士フイルムグループで公開運転する。

### JP展で桜井GSが展示公開

桜井グラフィックシステムス(桜井隆太社長)が「JP2013情報・印刷産業展」に出展するのは、水無し印刷に対応した菊全判4色機「OLIVER 496SD」。

オリバーシリーズの集大成とも言える「OLIVER 496SD」は、最先端自動化設備の完全搭載によるファンムオベレーションが実現できるものの、省スペース設計を実現するとともに、コストパフォーマンスに優れた菊全機となっている。

同機の納入先となる北東工業では、LED-UV機の導入に始まり、主力の8色機と水無し印刷化、Jaとの連携で即日納品など、今年1月中旬に主力機である菊全判両面8色機「Printer 2」を水無し印刷へと移行させ、ファンアウトなどによる事故防止対策を講じる体制を構築。

同時に、LED-UV機導入は難易度の高い薄紙に対しても速乾が叶うことで、後工程との連携で即日納品など、今年1月中旬からJapan Colorの認証取得を目指しており、入口から出口まで社内全機の標準化にも取り組んでいる。

今回の菊全判4色機「OLIVER 496SD」では、これまで使用してきた菊全機の一部が老朽化によって修繕費がかかることから、印刷機の置き換えとして導入することを決めた。

「安心の生産工場」として現状に留まらず、常に最新設備を導入し、技術の習得に努めている同社は、新技術への挑戦によってさらなる作業効率アップと事故を未然に防ぐ戦略を鮮明に打ち出し、顧客満足度を高める体制を構築することとなる。

同時に、桜井グラフィックシステムスから5年間で3台の機械を導入している同社では、印刷機のおベレーションが統一することで、どの機械でも誰もが使えるようにする。今回の「OLIVER 496SD」をきっかけに、製造業のプラントとして同社が展開している「ものづくりへのこだわり」についても内外に向けて情報発信していく。

その一環として、5月16日から開催される「JP2013情報・印刷産業展」に、桜井グラフィックシステムスのJapan Colorの光文堂、都インキなどの支援協力を得て誕生した新技術を発表する。

東條社長は「印刷業の新しい形へ当社が自ら大きく変化することで、当社を育ててくれた大阪の街と印刷業界に恩返ししたいと考えています。当社を応援していただいている仕入れ先・協力会社にもお詫言っていますし、お客様についても、いつも頼りになる安心の生産工場であることを訴えていきたいです」と語っている。



水無し印刷に対応する「OLIVER 496SD」